

夏が終わった頃、
僕たちは「株式」と出会った。

株式が社会に及ぼす影響がわかった。
逆に社会で起きたいろいろな出来事も、
株式に影響を与える事を知りました。(高等学校 生徒)

生徒が喜んで授業に取り組んでくれたのが何より嬉しかった。
保護者の勤めている会社の株価を見たり、
保護者に銘柄を相談した生徒もいたようで、
家族とのコミュニケーションにも
一役買ってくれた。(高等学校 教諭)

新聞を読むにしても、
単語がわからない時が多かったが、
教材を使う事でよく理解できました。(中学校 生徒)

「株式=金儲けの感覚」の再検討から始め、
事前調査と選出した13社への訪問による確認・補正を含めて
レポート作成までこぎつけました。
企業側も好感をもって対応してくれたので、
ゼミ生も自分達に自信を持つ事ができました。(大学 教員)

教材が無料配布。公立学校ではなかなか実現しない
バーチャルな学習はとても役立ちました。
最初、子供たちは日経新聞は難しいとこぼしていましたが、
読むスキルを知らず知らず身につけ、
他の新聞がやさしいと言うまでになりました。
このような取り組みは、国の将来を担う子供たちに
生きる力を身に付けるきっかけとなります。(中学校 教諭)

日経STOCKリーグとは

日本経済新聞社が主催する、中、高、大学生を
対象とした株式学習コンテストです。5人までの
グループに先生がついて、2か月間投資シミュレ
ーションを行います。投資の対象にテーマを設定し、
参加チームはポートフォリオや学習の結果につ
いてのレポートを作成します。2006年度の第7回
大会には、全国から2,065チーム、8,193名が
参加しました。ほとんど知識ゼロの状態からスタート
して、自分たちで学び、考え行動し、中には企業
訪問を行ったグループもありました。教科書の中
の知識だけでは得ることのできない、生きた経済
にふれ、未来に向けて力強い一歩を踏み出した
若者たち。その成果が、もうすぐ発表されます。

一番学んだ事は、投資と投機の違い。
株式は売買利益のみにとらわれるのではなく、
応援したい会社を長期的に見て、
一生物だと思って買うものだと思います。(高等学校 生徒)

普段の授業では学ぶ事ができない
生の体験ができた。
社会の動きに関心が持て、ニュース番組を
真面目に見るようになった事は、
大きな収穫だった。(高等学校 生徒)

生徒の学習意欲や満足度が大変高いです。
生徒はこの学習を通じて、経済や社会の動きに
目を向けるようになりました。(高等学校 教諭)

直接金融が持つ意義と、それに対する関わり方を
徹底的に教授する事が、義務だと思います。(大学 教員)

第7回 日経STOCKリーグ 表彰式&記念シンポジウム

中・高・大学生のための株式学習コンテスト

日時: 3月10日(土) 13:30—17:00

会場: 日経ホール(日本経済新聞社8階)

参加費: 無料

若者たちの経済学習の成果をお見せします。レポート審査により選出された最優秀賞(米国研修旅行にご招待)はじめ各賞の発表。プロ顔負けの知識と若者ならではの新鮮な発想に満ちたプレゼンテーション。さらに経済界のリーダーたちが、経済教育のあり方について、熱く鋭く語り合います。

| | | |
|-------------|---|--|
| 表彰式 | 表彰 最優秀チームによるプレゼンテーション | |
| 記念講演 | 池上彰氏(ジャーナリスト)「これでわかる!国際経済の見方~世界地図から見てくるもの~」 | |
| パネルディスカッション | 「金融・経済教育の現状と今後」(仮題) | |
| | 田村耕太郎氏(内閣府大臣政務官)、三原淳雄氏(経済評論家)、 藤沢久美氏(シンクタンク・ソフィアバンク副代表)、海津政信氏(野村証券 金融経済研究所長) | 横徳子氏 (テレビ東京 株式会社ワイド クロージングパレルキャスター) |

日経ホールで同時開催 京都大学経済教育シンポジウム 「最先端の金融・経済にふれる特設アカデミー」

日時: 3月10日(土) 9:45—12:00 参加費: 無料

| | | |
|--|--|----------------------------|
| レクチャー | 劉屋武昭氏(京都大学経済研究所客員教授、 明治大学ビジネススクール研究科長) | 「企業価値創造と不確実性~長期投資の対象を学ぶ~」 |
| | 梶井厚志氏(京都大学経済研究所教授) | 「ゲーム理論の入門と応用~戦略的思考の技術を学ぶ~」 |
| | 加藤康之氏(京都大学経済研究所客員教授、 野村証券株式会社執行役・金融工学研究センター長) | 「資産運用論入門~長期投資の技術を学ぶ~」 |
| 主催: 京都大学経済研究所 協賛: 野村グループ 協力: 日本経済新聞社 後援: 金融庁(予定)、日本証券業協会(予定)、東京証券取引所(予定) | | |

参加申し込み方法

郵便番号、ご住所、お名前、年齢、勤務先あるいは学校名、電話番号、参加ご希望のコース名をご明記のうえ、電子メール、ハガキ、またはFAXで下記までお申し込みください。応募者多数の場合は抽選のうえ、「参加証」をお送りします。

Aコース: 「京都大学経済教育シンポジウム」と「第7回 日経STOCKリーグ表彰式&記念シンポジウム」の両方に参加希望

Bコース: 「京都大学経済教育シンポジウム」のみ参加希望

Cコース: 「第7回 日経STOCKリーグ表彰式&記念シンポジウム」のみ参加希望

*お申し込みの際には、必ず参加ご希望コース名をご明記ください。

締め切り: 3月5日(月) 必着

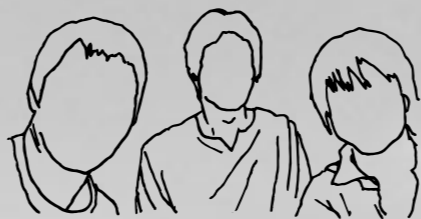
お申し込み・お問い合わせ先

教育シンポジウム事務局 FAX.03-3545-6993

E-mail: 310sympo@info.email.ne.jp 〒104-0061 東京都中央区銀座2-16-16 GINSENBUILDING6階
お電話でのお問い合わせ先 TEL.03-3545-9832(10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

経済学習サイト man@bow(学ぼう)にアクセスすれば、
日経STOCKリーグがくわしくわかる。

<http://manabow.com>



東証1部に上場している企業でも
知らない企業がほとんどで、
日本経済が、自分の知らない多くの企業に
支えられている事に驚きました。(大学 学生)



新聞や日経会社情報などあまり読んでいなかったが、
日経STOCKリーグを通して毎日読むようになった。
それによって色々な知識が増えた。(中学校 生徒)



株式の動きを研究するために、企業の行動に注目するようになり、
株主が企業の行動を監視するという事が実感できました。
まだまだ、日本は株式を保有する文化が広まっていないと思うので、
もっと株式市場が発達して、経営の良い企業を伸ばしていく仕組みが
機能すればいいと思います。(大学 学生)

